

2017年春期(第160回)講演大会記録

2017年春期講演大会は、3月15日から17日の期間、首都大学東京南大沢キャンパスにおいて開催した。

- 3月15日(9:00~9:40) 開会の辞、大韓金属・材料学会代表挨拶、TMS 代表紹介、各賞贈呈式(6号館110)
- (9:50~11:40) 学会賞受賞記念講演、本多記念講演(6号館110)
- (13:00~16:10) 一般講演、受賞講演(1号館)
- (12:30~17:00) ポスターセッション(8号館1階、9号館1階)
- (18:00~20:00) 懇親会(国際交流会館)
- 3月16日(13:00~17:55) 一般講演、シンポジウム講演、受賞講演、Young Leader International Scholar 講演、共同セッション(1号館)
- 3月17日(9:00~16:45) 一般講演、シンポジウム講演、受賞講演、共同セッション(1号館)
- 3月15日~3月17日 総合受付、金属組織写真展示、付設機器・カタログ展示会(1号館1階)

開会の辞

白井泰治会長より開会の挨拶があった。

大韓金属・材料学会代表挨拶(3月15日)

本会と大韓金属・材料学会との学術交流協定にもとづき、Dong Joon Min 会長が来日し挨拶した。



開会の挨拶：白井会長。



KIM Dong Joon Min 会長の挨拶。

TMS 代表紹介(3月15日)

本会とTMSとの国際交流促進協定にもとづき、TMS から第12回 Young Leader International Scholar として来日した代表者 Kinga A. Unocic 氏が紹介された。

贈呈式(3月15日)

白井泰治会長の式辞に続き、下記の贈呈式を行った。

第62回学会賞贈呈式 加藤雅治君に対して賞状ならびに賞牌贈呈。

(受賞者；本誌313頁)

第58回技術賞贈呈式 3名に対し賞状ならびに賞牌贈呈(受賞者；本誌314頁)。

第67回金属組織写真賞贈呈式 優秀賞3件に対し賞状ならびに賞牌贈呈(受賞者；本誌314頁)。(応募作品を講演大会期間中掲示した。)

第48回研究技術功労賞贈呈式 10名に対し賞状ならびに賞牌贈呈(受賞者；本誌316頁)。

第75回功績賞贈呈式 8名(物性部門1名、組織部門2名、力学特性部門1名、材料化学部門1名、材料プロセス部門1名、工業材料部門1名、工業技術部門1名)に対し賞状ならびに賞牌贈呈(受賞者；本誌318頁)。

第56回谷川・ハリス賞贈呈式 4名に対し賞状ならびに賞牌贈呈(受賞者；本誌320頁)。

第23回増本量賞贈呈式 1名に対し賞状ならびに副賞贈呈(受賞者；本誌321頁)。

第26回若手講演論文賞贈呈式 3名に対し賞状贈呈(受賞者；本誌321頁)。

名誉員推戴式 新名誉員1名に対し推薦状ならびに名誉員章贈呈(受賞者；本誌321頁)。



受賞者の皆さんです：おめでとうございます！



学会賞受賞者：加藤雅治先生。



新名誉員：村上正紀先生。

第62回学会賞受賞記念講演(3月15日)

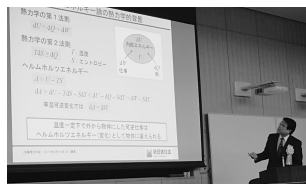
「第二相や異相界面の結晶学とエネルギー論」

新日鐵住金技術顧問・東京工業大学名誉教授 加藤雅治 君

第62回本多記念講演(3月15日)

「アルミニウム合金のナノクラスタ制御と高性能化の研究」

東京工業大学名誉教授 里 達雄 君



学会賞：加藤先生によるご講演。



本多記念講演：里先生によるご講演。

懇親会(3月15日)

国際交流会館1階フレンチレストラン「ルヴェソソヴェール」において日本鉄鋼協会と合同で開催(参加者は269名、本会への申込者・招待者107名)。

開会の辞・司会

首都大学東京教授 笥 幸次

来賓挨拶

首都大学東京学長 上野 淳

日本金属学会会長挨拶

京都大学名誉教授 白井泰治

日本鉄鋼協会会長挨拶・乾杯 JFE スチール㈱代表取締役副社長

丹村洋一

懇 談

閉会の辞

東京理科大学副学長 住吉孝行



首都大学東京上野学長によるご挨拶。



賑やかな懇親会風景。

大会参加者 1,240名(一般679名、学生員383名、非会員一般60名、非会員学生11名、相互聴講107名)



TMS Yong Leader: Kinga A. Unocic 氏(中央)を囲んで。

学術講演会(3月15日～17日)

最終講演件数689件

欠講0件

学会賞受賞記念講演1件, 本多記念講演1件

公募シンポジウム講演4テーマ71題(基調講演26題, 応募講演45題)

一般講演456題(功績賞受賞講演8題, 谷川・ハリス賞受賞講演4題, 増重量受賞講演1題, 技術賞受賞講演2題, Young Leader Scholar 講演1題含む)

共同セッション18題

ポスターセッション142題

講演会場 17会場

第28回ポスターセッション(3月15日)(受賞者; 本誌322頁)

3月15日12:30～17:00の時間に8号館と9号館1階吹き抜け廊下で142件のポスター発表が行われ, そのうち優秀ポスター賞にエントリーおよび審査対象となっている124件の内容・発表について審査が行われた。

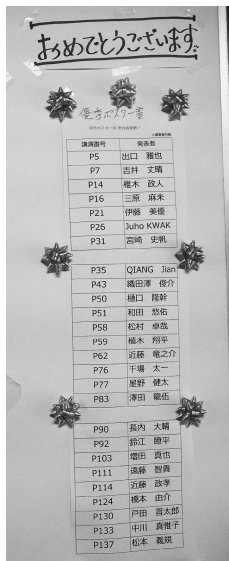
第1部(12:30～14:30)76件, 第2部(15:00～17:00)66件の二部構成で開催。

一般講演は15時で終了とし, 多数の聴講者がポスターセッション会場へ足を運んでいた。

3月16日「優秀ポスター賞」26名が決定し, 受賞者を本会ホームページおよび金属学会受付に掲載した。



熱気あふれるポスター会場。



おめでとうございます。

金属学会・鉄鋼協会共同セッション

「チタン・チタン合金」14題(金属12題, 鉄鋼2題)は3月16日, 金属学会O会場で開催した。

「超微細粒組織制御の基礎」7題(金属6題, 鉄鋼1題)は3月17日, 鉄鋼協会第15会場で開催した。

第12回 JIM/TMS Young Leader International Scholar Program (3月16日)

若手研究者の活動の活性化とTMSとの国際交流促進を目的に2006年より設けられたJoint JIM/TMS Young Leader International Scholar Programとして, TMSから派遣された代表者Kinga A. Unocic氏が「ジェットエンジン・ガスタービン耐熱材料・蒸気発電耐熱材料」セッションにおいてYoung Leader International Scholar 講演発表後, 座長より賞状が授与された。



Kinga A. Unocic氏による一般講演。



寺田座長と一緒に。

第3回企業ランチョンセミナー(3月16日)

昼休み時間帯に昼食をとりながら, 講演大会参加者に最新の技術情報を聴講いただく, ランチョンセミナーを開催した。

以下の5社が各5会場で30分程度のセミナーを行い, 参加者数は5社で合計176名であった。

参加者および参加企業共に好評であった。

(参加企業)

オックスフォード・インストゥルメンツ㈱

日本エフイー・アイ㈱

テクノプラス㈱

㈱日立ハイテクノロジーズ

㈱TSLソリューションズ

第9回男女共同参画ランチョンミーティング(3月17日)

「金属材料分野での多様なキャリアパス」をテーマに東京工業大学の宮嶋陽司氏が講演を行った。

参加者22名



宮嶋講師(左)によるご講演。



講演後のディスカッションの風景。

付設機器・カタログ等展示会(第38回)

機器展示13社, カatalog展示1社より出展の協力を得た。展示会場は1号館1階2室で開催した。各社のご好意に感謝いたします。

託児室

3月15日(水)～17日(金)子供2名に対してシッター2名体制のもとと支障なく終了した。

【大会雑記】

首都大学東京での開催は初めてとなる。

講演会場は1号館1階～2階と同一建物の中にまとまった会場であったため, 会場移動がスムーズであった。同建物3階には鉄鋼協会の講演会場の一部があり, 鉄鋼協会の受付や講演会場のある6号館も建物が近く, 両学協会の講演を聴講する参加者には比較のスムーズであった。

キャンパスが広いので, ポスターセッション会場のある8号館9号館や懇親会会場の国際交流会館までの案内表示を構内にいくつか設置し, 参加者の便をはかった。

大会前日に開催した第3回の企業説明会は企業42社, 学生84名の参加があり, 盛会裡に終了した。また, 今回より説明会終了後に企業の担当者と参加学生との交流会(立食懇談会)を行い, 大変好評であった。

例年より1週間程度開催時期が早かったため, まだ少し冬の寒さが残る中での開催であったが, 3日間無事に講演を終了することができた。

首都大学東京寛幸次先生および北園幸一先生, また職員関係者ならびに事務関係者の皆様にはお忙しい中を諸般にわたり終始, 万端のご配慮をいただき, ご協力に対し心から厚く御礼申し上げます。



次回秋の学会は、
北海道大学(札幌)
です。